



(術後8日目 平成19年3月3日) 宏典につながっていた沢山のチューブはとれ、点滴のルートひとつとなり随分すっきりしました。体重も術前13キログラムが10キログラムになり大きかったお腹は出産後のお腹のようにやわらかく伸びていた皮がゆるんでプニョプニョしています。最高17キログラム(とんでもない腹水の量)まであったことを考えると宏典の深刻さをあらためて感じます。今のところ大きな拒絶はなく、心配されていた各臓器も順調に回復してきています。先日その心配はかなり深刻だったと医師から聞かされ、やはり応援してくださっている皆さんの祈りのパワーに守られた奇跡を疑わずにはいられません。先日父親と嬉しい再会を果たし一昨日昨日と大好きな歌が唄えました。呼吸がきつもう何ヶ月も唄えていなかった歌です。大好きな「大きなのっぽの古時計」を歌い、その姿に夫婦は移植医療の素晴らしさと喜びに心ふるえました。まだまだ気を抜くことはできませんが今までは全く違う時間の流れを過ごしています。感謝感謝の毎日です。



(退院3日目 19年4月6日)

術後三回目のカテーテル検査をおえ、腹水も落ち着き経過良好ということで4月3日に念願の退院をすることができました。これからは週二回病院に通院し経過をみていきます。病院を出たことが宏典は嬉しくてしょうがないようで、そして本当によく話し笑うようになりました。まだまだ拒絶との闘いはありますが一步一步我が家に帰る日に向かって歩いていることを実感しています。



(退院10日目 19年4月13日)

今日のニューヨークは、朝から雨が降っています。ようやく生活も落ち着いてきました。宏典も調子が良く、毎日よく遊び、よく笑い、よく食べています。遊びもだんだん激しくなっていて、恐竜のおもちゃでの戦いごっこにはまっています。もしかしたら、三人の中で一番活発な子なのかもしれません。

(退院40日目 19年5月13日)

今日は日本人学校の運動会に招待され、ドクターの許可をえて少しだけ見に行きました。皆さんに「ひろくん!よかったね」と声をかけていただき、嬉しそうでした。グラウンドのグリーンの芝と大きな八重桜の木が満開でとても美しく、子供たちは生き生き伸びやかに運動会を披露していました。宏典はタンポポの花を思う存分摘んで、もってかえり、「死んじゃうからお水に入れてあげんにゃ〜いけん!」と一生懸命いけて?いました。いたわりの心が育っているのを嬉しく思いました。フィジカルセラピーがドクターから義務づけられていましたが運動機能が著しく回復してきたということで義務づけがなくなりました。また、嬉しい進歩です。



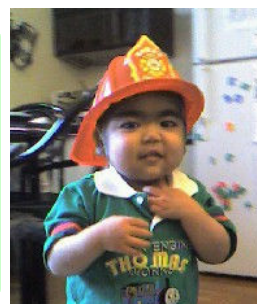
(退院24日目 19年4月27日)

やっとこちらでも暖かい日が続くようになり、外来で通院した時には病院の中庭で過ごしたり、アパートからセントラルパークが近いので、散歩にでかけたりできるようになりました。お外にでるのは、大好きで芝生の上をうれしそうに歩きます。



(退院88日目 19年7月1日)

宏典はおかげ様でとても元気になっています。先日、テレビでジュラシックパークをみて、今、肉食恐竜に自らがなるのにはまり、こちらは大変です。足も随分太くなり、パワーがかなりついてきました。体型も父親にそっくり?!笑 です。



(退院119日目 19年8月1日)

術後5か月を無事すぎ、6か月目にはいりました。ようやく、帰国が近くに見えてきた感じがしています。ここまでの順調に経過してまいりました幸せをあらためてかみしめています。実は、今、FM アクアさんに救う会のメンバーさんが出演された時のCDを聴いています。宏典が今こうして元気でいられる、それを支えてくれた方々の言葉がじ〜んと胸に染み込んできます。宏典は、今、めっちゃ元気にとびきりの笑顔を見せてくれています。戦いの大好きな活発な男の子になりました。からだは、同年代の子供たちよりふたまわりくらい小さいですが、その体からは生きるエネルギーがみなぎっています。もうすぐ、宏典を連れて帰ります。みなさん、待っていてくださいね。

